

**製品名: FUS / TLS (18113) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe11186**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.33mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:50-1:200
分子量	53kDa

**抗原情報**

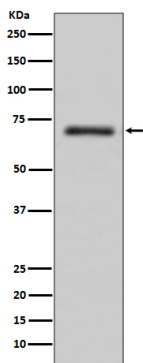
遺伝子名	FUS
別名	FUS; ALS6; CHOP; FUS-CHOP; FUS1; Fused in sarcoma; HnRNPP2; Oncogene TLS; ETM4; Fus-like protein; Oncogene FUS; POMP75;
遺伝子 ID	2521.0
SwissProt ID	P35637
免疫原	ヒト TLS/FUS の合成ペプチド

## 背景

FUS/TLS (fused in sarcoma/translocated in liposarcoma) は、粘液性脂肪肉腫、急性骨髄性白血病、ユーイング腫瘍など、様々な癌に見られる融合タンパク質の構成要素として、研究者らによって当初同定されました。転写調節、RNA スプライシング、RNA 輸送、DNA 修復および損傷応答など、様々な細胞プロセスにおいて役割を果たす DNA/RNA 結合タンパク質 (PubMed:27731383)。新生 pre-mRNA に結合し、RNA ポリメラーゼ II と U1 小核リボ核タンパク質間の分子メディエーターとして作用し、転写とスプライシングを連結します (PubMed:26124092)。また、自身の pre-mRNA にも結合し、その発現を自己制御します。この自己制御メカニズムは、ナンセンス変異を介した分解によって媒介されます (PubMed:24204307)。DNA 二本鎖切断修復における D ループ形成と相同組換えを促進することで、DNA 修復機構において重要な役割を果たします (PubMed:10567410)。神経細胞においては、樹状突起スパインの形成と安定性、RNA 輸送、mRNA の安定性、シナプス恒常性維持に重要な役割を果たします (類似性に基づく)。

## 研究分野

## 画像データ



K562 細胞溶解物中の FUS / TLS 発現のウェスタン プロット解析。